

報告書

読み聞かせボランティア活動報告 ～学生のアナケート調査分析を通して～

梅野智美 澁田萌

1. はじめに

表現学科情報司書フィールド（以下、情報司書フィールド）は、新たな出遇いと想像力の場である文化の現場において、人と人を結ぶコミュニケーション能力を身につけることを教育目的としている。また、情報司書フィールドでは司書資格を取得することができ、「人に寄り添い、共感できる」人間福祉を踏まえた司書の育成を目指している。人に寄り添い、共感できる司書とは、例えば障害のある利用者がどんな手助けを必要としているか察することができ、的確な行動につなげられる司書である。また、老若男女、さまざまな利用者の立場を理解し、人に寄り添い、それぞれに必要なことや情報を表現し提供できる司書である。

2002年中央教育審議会は、「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について（答申）」の中で奉仕活動や体験活動を社会全体で推進していくための社会的仕組みづくりの必要性を謳った。注1）このようなことから、情報司書フィールドは、2004年より特別養護老人ホーム長生園（以下、長生園）でボランティア活動を、2015年より社会福祉法人九州大谷福祉会桜保育所（以下、桜保育所）の園児たちにボランティア活動を行っている。ボランティア活動は、桜保育所を1年生、長生園を2年生とし学年で区別している。このようなボランティア活動を行うことは司書の仕事にも通じるところがある。なぜなら、司書の職務の一つにレファレンスサービス注2）があるからである。レファレンスサービスは、図書館を利用する乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層が対象である。司書はこの幅広い年齢層の利用者と対話をしながら仕事を行う。それには、人と対話するコミュニ

ケーション力、人の役に立つボランティア精神が大切であると考えている。

このようなことから、高齢者施設や保育所でのボランティア活動が、司書を目指す学生たちにとって、司書としての自覚を培い、人に寄り添い、共感でき、学びを深め、人として成長できることを可視化する取り組みであることを、アンケート調査を通して示したいと考える。

2. 調査方法

(1) 調査対象施設

長生園、桜保育所の2ヶ所。長生園は、福岡県久留米市郊外ののどかな住宅街に位置する総合老人福祉施設。私たちがボランティア活動をしている入所者は、要介護3から要介護4注3)の方々である。ボランティア活動の内容は、指体操、絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、唱歌、楽器演奏などである。時間は30分程度。

桜保育所は、本学に隣接する保育所である。定員100名で、ワクワク・イキイキ子どもたちと輝いて生きようをコンセプトに、子どもたちが自分の生命の尊さに気づき、青年期の自立に向けてしっかりと自分づくりをしていく力を育てる保育を目指している。ボランティア活動の対象者は、3歳から5歳の園児たちである。ボランティア活動の内容は、指遊び、絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、紙皿シアターなどである。時間は30分程度。

(2) 調査方法

調査対象者は、情報司書フィールドの1年生(2019年度入学)18名、2年生(2018年度入学)13名。アンケート調査を、1年生は入学直後の4月と2年生になった6月の2回、2年生は4月と翌年1月の2回行った。アンケート調査は倫理的配慮として、本研究の目的以外に使用しないことを説明し、また無記名とした。

(3) 調査内容

2年生の1回目のアンケート調査は、9項目を「良かった」から「良くなかった」の5件法と、「大いに思う」から「思わない」の4件法及び6項目の自由記述の質問事項とした。2回目のアンケート調査は、10項目を、「良かった」から「良くなかった」の5件法と「大いに思う」から「思わない」の4件法及び7項目の自由記述の質問事項とした。

1年生の1回目のアンケート調査は、9項目を、「大いにある」から「まったくない」の4件法及び6項目の自由記述の質問事項とした。2回目のアンケート調査は、9項目を「良かった」から「良くなかった」の5件法と「大いに思う」から「思わない」の4件法及び6項目の自由記述の質問事項とした。

(4) 調査期間

平成31年4月～令和2年4月

ボランティア活動実施日

桜保育所：2019年6月19日（水）10：00～10：30

2019年11月1日（金）10：00～10：30

長生園：2019年7月3日（水）15：00～15：30

2019年10月18日（金）15：00～15：30

3. 調査結果

アンケート調査の質問項目に対する回答結果は以下の通りである。

◆2年生（2018年度入学）4月に実施（1回目）

2年生は1年生の時に、桜保育所のボランティア活動を2回行っている。

1. 1年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

「良かった・どちらかと言えば良かった」と回答したのは10人（77%）、

「どちらとも言えない」と回答したのは3人（23％）であった。「どちらかと言えば良くなかった・良くなかった」は0人。ほとんどの学生はボランティア活動に参加して良かったと回答した。

		回答人数	回答数／回答人数
1	良かった	5	38.5%
2	どちらかと言えば良かった	5	38.5%
3	どちらとも言えない	3	23.0%
4	どちらかと言えば良くなかった	0	0.0%
5	良くなかった	0	0.0%
合計人数		13	100.0%

2. 1で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「司書を目指す上で必要なことだと思う」、「人と関わることに少しだけ慣れた」、「人前で話すことの練習、経験が出来た」、「小さい子と接する機会がないので良い経験になった」という回答であった。園児たちへの読み聞かせは司書の仕事の一つであるし、学生の間に、園児たちとふれあい読み聞かせなどの実践を行うことは、園児たちの絵本に対する反応を直接肌で感じることができ、将来、司書として働くとき不安なく読み聞かせを実践できるだろう。学生たちの回答からも分かるように、園児たちとの直接の交流が学生本人の自信にも繋がっている。

3. 1で「良くなかった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

4. 今後もボランティア活動を続けますか？

「はい」は11人（84.6%）。「いいえ」は2人（15.4%）。ほとんどの学生たちはボランティア活動を続けたいと回答している。

		回答人数	回答数／回答人数
1	はい	11	84.6%
2	いいえ	2	15.4%
合計人数		13	100.0%

5. 4で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「役に立つから」、「本や紙芝居の良さを伝えていきたい」、「これから経験を重ねていきたい」、「人前に出ること慣れるため」などの回答であった。

6. 4で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「最初はいいがいずれ見返りを求めてしまいそうだから」と回答があった。

7. ボランティア活動はこれからの学生生活に役立つと思いますか？

「大いに思う・思う」と回答したのは11人（84.6%）、「あまり思わない」と回答したのは2人（15.4%）であった。ほとんどの学生たちは、これからの学生生活に役立つと考えている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いに思う	2	15.4%
2	思う	9	69.2%
3	あまり思わない	2	15.4%
4	思わない	0	0.0%
合計人数		13	100.0%

8. 7で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「就職などで人と接する機会が多くなるための予行練習になる」、「社会にでたら人のために何かをすることがある」、「ボランティアを通して人と関わっていくことができる」など、これから本学を卒業し社会人になる学生たちは、社会人にはコミュニケーション力や人の役に立つことが大切で

あると考えている。

9. 7で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）
記述なしであった。

◆ 2年生（2018年度入学）翌年の1月に実施（2回目）

2年間のボランティア活動を経験してのアンケート調査である。

1. 2年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

「良かった・どちらかと言えば良かった」と回答したのは10人（83.3%）、
「どちらとも言えない」と回答したのは2人（16.7%）であった。ほとん
どの学生たちは、2年間のボランティア活動に参加して良かったと回答し
ている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	良かった	6	50.0%
2	どちらかと言えば良かった	4	33.3%
3	どちらとも言えない	2	16.7%
4	どちらかと言えば良くなかった	0	0.0%
5	良くなかった	0	0.0%
合計人数		12	100.0%

2. 1で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「地域の人々と交流ができた」、「自分達が学んだことを人前で見せるこ
とが出来ようになった。笑顔を見ることができ力をもらえた気がする」、
「苦手意識を持った子どもに対し少しでも改善できた」、「人前であまり緊
張せずに話せるようになったと思う」、「子どもたちとふれ合ったり、人前
に立って読み聞かせなどをする経験ができた」、「普段子どもやお年寄りの
方と接する機会が無いので、ボランティアを通して色々なことを知れたの
で良かった」などの回答であった。

2年生は桜保育所と長生園の2ヶ所のボランティア活動を経験した。学生たちの回答で分かるように、ボランティア活動は講義で学んだことを実践できる場、園児たちや高齢者と接することができる場、人前で何かを演じる場など学生たちにとって有意義な学びであったことが伺える。

3. 1で「良くなかった」と答えた人は理由は何ですか？」（自由記述）

記述なしであった。

4. 今後もボランティア活動を続けますか？

「はい」と回答したのは5人（41.7%）、「いいえ」と回答したのは7人（58.3%）であった。

		回答人数	回答数／回答人数
1	はい	5	41.7%
2	いいえ	7	58.3%
合計人数		12	100.0%

5. 4で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「困っている人がいたら助けたい。少しでも力になりたい」、「自分が出来ることをしたい」、「学校司書を目指しているので、子どもとの関わりが大事だと思う」などの回答であった。

ボランティア活動は、困った人に自ら手を差し伸べる活動である。司書も、図書館を利用する利用者に対して、困った方に声を掛け、その方の困っていることを少しでも解決できるように手助する仕事である。このボランティア活動は司書としての自覚を促す起因となっていると考える。

6. 4で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「時間がない」、「ボランティア活動をしている余裕などないと思う」、「機会があればしたい」、「しばらくは時間におわれそうだから。時間が出来ればやってみたい」、「あまり機会がないと思う」などの回答であった。このことから分かるように、「いいえ」と回答した学生は、ボランティア活動を続けたくないわけではなく、社会人になると時間の余裕がなくなり、ボ

ランティア活動をする時間を割くことが難しくなるのではないかと危惧していることが伺える。

7. ボランティア活動はこれからの社会人生活に役立つと思いますか？

「大いに思う・思う」と回答したのは10人（83.4%）、「あまり思わない」と回答したのは2人（16.6%）であった。ほとんどの学生たちは、ボランティア活動をこれからの社会人生活に役に立つと考えている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いに思う	2	16.7%
2	思う	8	66.7%
3	あまり思わない	2	16.6%
4	思わない	0	0.0%
合計人数		12	100.0%

8. 7で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「社会人として必要な心をみがける」、「人と接する活動だから」、「人前に立つことが苦手だったが絵本などを発表する中で少しは克服できたと思うから」、「人に喜んでもらえる喜びを知れたから」、「子どもとの接し方などを学ぶことができたから」、「コミュニケーションがとれるから」、「自分の経験になるから」、「子どもと本をつなげる役割の手助けになるから」などの回答であった。このような回答から、学生にとってのボランティア活動は、コミュニケーション力を高める、自分の苦手意識の克服、様々な経験になる、司書の仕事に繋がるなど、社会人生活に役立つと考えている。

9. 7で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「あまり思わない」と回答した学生は2名であったが、記述なしであった。

10. あなたにとってボランティア活動とは何でしたか？（自由記述）

「前向きな人生を送れる」、「少しでも力になってその人だけでなく場が温かくなりやさしい人が増えるものだと気づかされた活動だった」、「度胸がつく場所」、「ボランティアの対象者はもちろんのこと、共にボランティ

アをした人とも交流を深められた。人のつながりの大切さを学んだものだった」、「喜んでもらえつつ、自分も成長できた活動」、「以前は人前で何かをするのも子どもと接するのも苦手だったがボランティア活動の中で楽しさに気付くことが出来た」、「思いやり」、「みんなで協力して子どもと本をつなげるもの」などの回答であった。学生たちの回答から分かるように、2年間のボランティア活動を経験したことで、学生同士の交流が深まり、お互いの思いやりが生まれ、そして、自分の成長に繋がるなどと感じている。

◆1年生（2019年度入学）4月に実施（1回目）

1. ボランティア活動に関心がありますか？

「大いにある・ある」と回答したのは15人（83.3%）、「あまりない」と回答したのは2人（11.1%）、「まったくない」と回答したのは1人（5.6%）であった。ほとんどの学生はボランティア活動に関心があるとの回答であった。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いにある	2	11.1%
2	ある	13	72.2%
3	あまりない	2	11.1%
4	まったくない	1	5.6%
合計人数		18	100.0%

2. 1で「ある」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「人の役に立ちたい。人を喜ばせたい」（4人）、「高校生のとき一度したボランティアが楽しかったから」、「人に喜んでもらえるのが好きだから」、「人とふれ合いたい」、「今まであまりしたことがないから」、「だれかのために動くことがすごいと思う」、「ボランティア活動は結構すきだから」、「あ

まり機会が無くやってなかったがやりたいと思っている」などの回答であった。

3. 1で「ない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

4. ボランティア活動をしたことはありますか？

「はい」と回答したのは12人（66.7%）、「いいえ」と回答したのは6人（33.3%）であった。

		回答人数	回答数／回答人数
1	はい	12	66.7%
2	いいえ	6	33.3%
合計人数		18	100.0%

5. 4で「ある」と答えた人はどのようなボランティア活動をしましたか？（自由記述）

「小学生に紙芝居や人形劇をしたことがある。清掃活動（学校、地域）、老人ホームでの職員さんの手伝い」、「マラソンの給水」、「大会プラカード、地域清掃」、「部活で老人ホームに行って演奏した」、「マラソンの手伝い」、「清掃活動、施設ボランティア、祭りのボランティア、地域ボランティア」、「福祉祭りのスタッフ、まつり宮崎での会場設営、青島太平洋マラソンのスタッフ、部活での校内、市内清掃」等、本学に入学するまでに多岐にわたってボランティア活動を経験していることが分かった。

6. 4で「ない」と答えた人はその理由は何ですか？（自由記述）

「予定が合わなかったり、機会が無かった」、「きっかけがなかった」などの回答であった。

7. ボランティア活動をしたいと思いますか？

「大いに思う・思う」と回答したのは16人（88.9%）、「あまり思わない」と回答したのは2人（11.1%）。ほとんどの学生はボランティア活動をしたいと思っている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いに思う	3	16.7%
2	思う	13	72.2%
3	あまり思わない	2	11.1%
4	思わない	0	0.0%
合計人数		18	100.0%

8. 7で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「経験したい」、「やってみたい」、「人の役に立ちたい。人と関わることに慣れたい」、「誰かのために頑張ることが楽しいから」（3人）、「人の役に立ちたい。人を喜ばせたい」（4人）、「今までやってきたからこれからもやりたいと思った」、「自分がだれかの為になっていることを感じるから」などの回答であった。

学生の回答から、ボランティア活動に意欲がありチャレンジしたい気持ちが伝わる。また、人の役に立ちたいと思っている学生が多いことも分かった。

9. 7で「思わない」と答えた人理由は何ですか？（自由記述）

「時間がない」との回答であった。

◆ 2年生（2019年度入学）6月に実施（2回目）

2年生は、桜保育所の園児たちに絵本の読み聞かせ等のボランティア活動を1年間経験している。

1. 1年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

「良かった、どちらかと言えば良かった」と回答したのは16人（94.1%）、「どちらとも言えない」と回答したのは1人（5.9%）であった。ほぼ全員がボランティア活動に参加して良かったと回答した。

		回答人数	回答数／回答人数
1	良かった	9	52.9%
2	どちらかと言えば良かった	7	41.2%
3	どちらとも言えない	1	5.9%
4	どちらかと言えば良くなかった	0	0.0%
5	良くなかった	0	0.0%
合計人数		17	100.0%

2. 1で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「子どもたちが喜んでくれるのは嬉しかったし、出し物が上達したかどうかリアクションで分かった」、「何事も経験が大切。参加したことで自分に影響があった。人と接する良い機会だった」、「あまり機会のない体験が多かったので、自分も楽しめたし参加した人にとっても良い体験になった」、「喜んでもらえたから」、「自分の今まで関わってこなかった人と関われた」、「保育所の子どもたちに読み聞かせやパネルシアターをするために自分たちも練習したことで勉強になったから」、「子どもたちの目の前で読み聞かせするのは初めてで緊張しましたが、自分にとってとても良い経験になった」、「お話サークルで子ども達とふれあえたから。回数が少なかったのは残念です。もっと回数を増やしていいのかなと思います」、「子どもたちとふれあえたから。子どもたちが喜んでくれていたので達成感があり、とても楽しかった」、「とても刺激になった。これまでの経験にないことだった」などの回答があった。

学生たちはボランティア活動をする前に、読み聞かせやパネルシアター等の練習を行う。その練習の成果のお陰で園児たちが笑顔で喜んでくれる、園児たちの楽しそうな表情が学生たちの達成感、刺激、そして、次回への意気込みに繋がると考えられる。

3. 1で「良くなかった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

記述なしであった。

4. 今後もボランティア活動を続けますか？

「はい」と回答したのは15人（88.2%）。「いいえ」と回答したのは2人（11.8%）であった。ほとんどの学生は今後もボランティア活動を続けたいと回答した。

		回答人数	回答数／回答人数
1	はい	15	88.2%
2	いいえ	2	11.8%
合計人数		17	100.0%

5. 4で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「力になれる事があったら手伝っていきたいから」、「時間と環境が良ければ活動したいと思う」、「子供だけではなく老人ホームなどに行き幅広い年齢の方と交流を広めていきたい」、「喜んでいる姿を見たいと思った」、「喜ぶ笑顔が見たい」、「新しい世界を見たいと思った」、「司書になるまでに経験した方が自分にとってもスキルアップにつながると思う」、「これからも自分の成長のために役立てたい」、「いい経験になる」、「楽しかったし、それが人のためになるならやりたい」（3人）、「今後もいろいろと役に立つ」、「ボランティアそのものを楽しめるようになりたい」、「子どもたちの笑顔を見るのがうれしかった」などの回答があった。

学生の回答から、司書のスキルアップに必要と考えている学生、自分の成長と捉えている学生、聞き手の喜ぶ顔が見たいと思っている学生など、ボランティア活動を続けていきたい理由は様々である。教員は、学生が主体的な取組ができるよう環境を整えることが必要である。

6. 4で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「時間に余裕があればするかもしれないが、今のところ続ける気はない」と回答があった。

7. ボランティア活動はこれからの学生生活に役立つと思いますか？

「大いに思う・思う」と回答したのは16人（94.2%）、「あまり思わない」と回答したのは1人（5.8%）であった。ほとんどの学生は、ボランティア活動はこれからの学生生活に役に立つと考えている。

		回答人数	回答数／回答人数
1	大いに思う	8	47.1%
2	思う	8	47.1%
3	あまり思わない	1	5.8%
4	思わない	0	0.0%
合計人数		17	100.0%

8. 7で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「司書を志す上で必要な事を実践できるから」、「している人としていない人はかなり変わってくると思う。少しでもそういった活動は経験すべきだと思う」、「人に触れる機会が増える」、「いろいろな人とコミュニケーションがとれる」、「人の気持ちを考えることができると思う」、「視野が広がる」、「将来にもこれからの学生生活においても授業での理解が深まると思う」、「人と話すことの練習になったし、何かを成し遂げるという意識をもつことができた」、「人間関係の構築に役立つ」、「日常生活では感じられないことを感じられる」、「読み聞かせをする機会をもらい前に立つ勇気を持つことができ、読み聞かせの仕方も学ぶことができた」、「学校とは違うものがある。学生生活をする上でやったほうがいい」、「ボランティアでしか得られないものがあると思う」、「普段の学生生活では気づけないことが多いにある」などの回答があった。

大学は、専門的な知識、技術を習得する学びの他にもサークル活動、アルバイト、自治会活動など、様々な経験ができる学びの場である。その中でもボランティア活動は、学生生活を後押しし社会人になるための素地をつくる重要な活動と言える。

9. 7で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

「学校生活に役に立つかは正直分からない。将来なにかの役には立つと思う」と回答があった。

4. 考察

ボランティア活動アンケート調査（以下、アンケート調査）は、2018年度入学および2019年度入学の情報司書フィールドの学生を対象に行ったものである。2018年度入学の学生は2年間のボランティア活動、2019年度入学の学生は1年半のボランティア活動を行った。2年間のボランティア活動を終えてのアンケート調査は2021年1月に行う予定である。

2018年度入学の学生は、1年間のボランティア活動を経験してのアンケート調査で、参加して良かったと回答した学生は77%。また、2年間のボランティア活動を終えて参加して良かったと回答した学生は83.3%である。2年間のボランティア活動を経験を終えての数値が高いのは、ボランティア活動が学生にとって自分を成長させる深い学びであったことが推察される。

2019年度入学の学生は、入学後のアンケート調査でボランティア活動に関心があると答えた学生は83.3%。その後、1年間のボランティア活動を経験して参加して良かったと回答した学生は94.1%。ボランティア活動の経験後の数値が、入学後のアンケート調査より高くなっている。それは、人前で読み聞かせ等の経験がほとんどない学生にとって、園児たちが自分の読み聞かせで喜んでくれたその姿を目の当たりにして嬉しかったのだろう。そして、それ以上に人前で話すことを苦手としていた学生にとって自信に繋がったことが要因であろうと推察する。

2019年版の内閣府「子ども・若者白書」によれば、「日本の若者は、諸外国の若者と比べて、自身を肯定的に捉えている者の割合が低い傾向にあるが、日本の若者の自己肯定感の低さには自分が役に立たないと感じる自己有用感の低さが関わっていること」注4）と述べている。また、日本の

若者のボランティア活動に対する興味についても、「ボランティア活動に興味がある」と答えた者の割合は33.3%であり、調査対象国の若者と比べて最も低く、「ない」と答えた者の割合は48.1%であり、調査対象国の若者と比べて最も高かった」注5）と述べている。本学の情報司書フィールドの学生たちは、ボランティア活動に興味・関心がある学生が多く、そのうえ、1年間のボランティア活動を経験して「良かった」と回答している学生がほとんどである。

前述の内閣府「子ども・若者白書」（2019年版）では、日本の若者は、自分が役に立たないと感じる自己有用感が低い傾向にあると述べている。情報司書フィールドの学生は、ボランティア活動によって、園児たち、高齢者の方々が「楽しんでくれる姿が見られた」、「人に喜んでもらえる喜びを知れた」、「自分たちの実演で笑ってくれた」など聞き手の方々が楽しんでくれたことで、人の役に立った、他人から喜んでもらえたと実感している。また、「人と関わることに少しだけ慣れた」、「人前であまり緊張せずに話せるようになった」、「以前は人前で何かをするのも子どもと接するのも苦手だったが、ボランティア活動の中で楽しさに気づくことができた」、「喜んでもらえつつ自分も成長できた活動」など学生たちは自分の苦手意識を克服し成長している。このようなことから、ボランティア活動を通して「人との関わり」を感じた学生が多いことが分かった。大学の中だけでは他者と関わる範囲は限られているため、ボランティアなどの学外における活動は他者を通して自身を大きく成長させる場になっていると考えられる。こうした活動の場は、司書を目指すにあたって求められる奉仕性を磨く場にもなるといえるだろう。そして、質の高いレファレンスサービスを行う上でも欠かせない経験になると考える。この活動が学生にとって司書としての自覚を培い、人に寄り添い、共感でき、学びを深め、人として成長できる取り組みであることをこのアンケート調査から分析した。

5. 今後の課題

短期大学は2年間の短い学びの中でカリキュラムが詰まっている。学生から「回数が少なかったのは残念。もっと回数を増やして欲しい」と意見が出たが、授業時間割と保育所、総合老人福祉施設との日程調整は難しい。保育所は午後からお昼寝タイムがあり午前中のボランティア活動を望まれる。総合老人福祉施設は午後の時間を望まれるなど学生の時間割調整も難しい。しかしながら、アンケート調査からも分かるように、学生たちの学びを深め、人として成長できるこのボランティア活動は継続して行く必要性を感じている。また、今後の活動の中で学生自身が「自発性」を持ち、ボランティア活動に取り組むようになれば多様な意見や考え方を育むことも期待できる。そして、このボランティア活動が司書に必要なスキルとして捉え、学生の空き時間を調整するのではなくカリキュラムとして検討していくことも必要であると考える。

謝辞

この研究にあたり、ご協力いただきました社会福祉法人九州大谷福祉会 桜保育所様、特別養護老人ホーム長生園様、また、アンケート調査に快く回答いただきました本学の表現学科情報司書フィールドの学生に深く感謝申し上げます。

(注1) 文部科学省 (2002) 青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について (答申)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1287510.htm
(2020.2.16 参照可)

(注2) レファレンスサービスとは、何らかの情報要求をもつ利用者に対して図書館員が行う人的援助である。日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会編『図書館ハンドブック』(第6版補訂2版), 日本図書館協会,

2016年, p.83

(注3) 要介護認定は、基本調査のデータを五つの分野ごとに分けて計算した要介護認定等基準時間の合計と主治医の意見等を合わせて判定される。合計時間が増えるごとに要介護度は高くなる。大田仁史・三好春樹監修『実用介護事典』(改訂新版), 講談社, 2013年, P.740-741

(注4) 内閣府「日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～」
https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r01gaiyou/pdf/b1_00_01_01.pdf
(2020.9.22 参照可)

(注5) 前掲注4)

資料 1

ボランティアアンケート（1年生）

あてはまるものに○をつけてください。（前期）

① ボランティア活動に関心がありますか？

- ① 大いにある ② ある ③ あまりない ④ まったくない

② ①で「ある」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

③ ①で「ない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

④ ボランティア活動をしたことはありますか？

- ① ある ② ない

⑤ ④で「ある」と答えた人はどのようなボランティア活動をしましたか？（自由記述）

⑥ ④で「ない」と答えた人はその理由は何ですか？（自由記述）

⑦ ボランティア活動したいと思いますか？

- ① 大いに思う ② 思う ③ あまり思わない ④ 思わない

⑧ ⑦で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑨ ⑦で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

以上、ご協力ありがとうございました。

ボランティアアンケート（２年生）

あてはまるものに○をつけてください。（前期）

① １年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

① 良かった ② どちらかと言えば良かった ③ どちらとも言えない

④ どちらかと言えば良くなかった ⑤ 良くなかった

② ①で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

③ ①で「良くなかった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

④ 今後もボランティア活動を続けますか？

① はい ② いいえ

⑤ ④で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑥ ④で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑦ ボランティア活動はこれからの学生生活に役立つと思いますか？

① 大いに思う ② 思う ③ あまり思わない ④ 思わない

⑧ ⑦で「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑨ ⑦で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

以上、ご協力ありがとうございました。

ボランティアアンケート（２年生）

あてはまるものに○をつけてください。（後期）

① ２年間のボランティア活動に参加して良かったですか？

① 良かった ② どちらかと言えば良かった ③ どちらとも言えない

④ どちらかと言えば良くなかった ⑤ 良くなかった

② ①で「良かった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

③ ①で「良くなかった」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

④ 今後もボランティア活動を続けますか？

① はい ② いいえ

⑤ ④で「はい」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑥ ④で「いいえ」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑦ ボランティア活動はこれからの社会人生活に役立つと思いますか？

① 大いに思う ② 思う ③ あまり思わない ④ 思わない

⑧ ⑦「思う」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑨ ⑦で「思わない」と答えた人は理由は何ですか？（自由記述）

⑩ あなたにとってボランティア活動とは何でしたか？（自由記述）

以上、ご協力ありがとうございました。